

個人 11

受 令和4年11月22日
付 午前・午後 9時00分

一般質問（代表・個人） 通告書

令和4年11月22日

尾張旭市議会議長 殿

氏名 片淵 卓三

尾張旭市議会会議規則第50条第1項の規定により、12月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 4 件

2 質問方法

	1回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項（大項目）ごとの一問一答
<input type="radio"/>	1回目から 質問事項（大項目）ごとの一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質 問 事 項 No. <u>1</u>	民生委員の役割について
要 旨	<p>※民生委員さんとの懇談の中でいただいた質問です。</p> <p>地域共生社会の実現が目指される中で、社会的孤立の防止等において民生委員・児童委員への期待と役割は大きなものとなっており、その一方で、年金支給開始年齢の引上げや改正高年齢者雇用安定法の施行等により、就労を継続する高齢者が増え、民生委員・児童委員になる方々の高齢化が進行しており、人口減少社会による高齢化など、民生委員・児童委員の担い手確保が難しい課題となってきています。</p> <p>地域福祉の最前線を担う民生委員の役割について十分に知らない住民もいるため、地域社会の協力を得られず、活動に支障が出ているケースもあります。住民に理解を深めてもらう広報活動の強化も進めなければなりません。</p> <p>本市でも民生委員のなり手不足が大きな課題となっております。なり手不足の原因として、昨今の社会状況の変化による課題、それは例えば介護、子どもの貧困、虐待、ひきこもりや単身高齢世帯の増加などに伴う活動の複雑化、業務量の増大が挙げられ、無報酬で引き受けるには負担が大きくなり過ぎていると聞いております。</p> <p>2019年3月に全国民生委員児童委員連合会が1万人に行った調査によりますと、高齢者家庭で災害に備えた活動を民生委員に望む声が多くなっており、近年の防災意識の高まりによって、今後は防災活動の比重も更が増すことが予想されます。民生委員の役割や活動範囲が非常に不明瞭なため、こうした社会状況の変化により業務が多様化していくことで、負担は増すばかりであります。また、地域によっても、その役割、活動の範囲に違いがあることは、民生委員を引き受ける際の不安要素であります。</p> <p>民生委員の役割と活動の明確化を行い、民生委員を安心して引き受け、負担の軽減にもつなげるよう、活動の見直しや体制づくりを支援する必要があると考えます。以下、伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 民生委員のなり手について (2) 民生委員の選出方法について (3) 高齢者宅における緊急連絡先を記入されない方の対応について (4) 民生委員の負担軽減につながる見直しと体制づくりを支援することについて

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>2</u>	高齢者福祉について
要 旨	<p>令和4年4月1日から、地域支援事業実施要綱の一部が改定され、市町村が手がける認知症総合支援事業に、「認知症の人と家族への一体的支援事業」が加わりました。以下、お伺いいたします。</p> <p>(1) 認知症の人とその家族への一体的支援について</p> <p>ア これまでの支援との違いと事業の詳細について</p> <p>イ 期待される効果について</p> <p>ウ 本市の取組状況について</p> <p>(2) 「eスポーツ」で認知症予防の取組について</p> <p>高齢者にとってTVゲームが脳の活性化や認知機能低下の予防になると、数多くの研究結果が発表され、介護施設や自治体で活用され始めています。視覚や聴覚から得られる情報をもとに、自身で考えコントローラーを巧みに操る必要のあるTVゲームは、脳への刺激が高く高齢者の認知症予防につながります。また、誰かと一緒にプレイすることで人や社会とのつながりを持つことができ、それが健康維持にもつながると考えられています。以下、お伺いいたします。</p> <p>ア 高齢者支援としての「eスポーツ」について</p> <p>イ 高齢者支援に「eスポーツ」を取り入れてみる方法として、民間企業との連携や協力について</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質 問 事 項 No. 3	投票率向上と投票所運営について
要 旨	<p>※本市の参議院選挙投票率⇒54.84%⇒大学生との意見交換会参考</p> <p>今年の夏の参院選の投票率は全国で 52.05%でありました。</p> <p>物価高騰やロシアのウクライナ侵略など、暮らしや平和に関わる争点は明確でありましたが、選挙期間中に安倍晋三元首相が銃撃され死亡した事件は、民主主義の重要性を再認識させる機会でもあったはずであります。</p> <p>しかし実際には、有権者の半数近くが投票権を行使しなかった。50%割れとなった 2019 年の前回選挙を 3.25 ポイント上回ったとはいえ、戦後 4 番目に低い。衆院選も直近 4 回は 60%を下回る水準で推移しています。</p> <p>選挙は主権者である国民がその代表を選ぶ民主主義の根幹である以上、投票率の低さは看過できない。1 人でも多くの有権者が投票所に足を運ぶよう取組を強化すべきであります。</p> <p>投票率の向上について、政党や政治家が果たす役割は大きく、具体的で説得力のある政策を提示することはもちろんですが、とりわけ重要なのは、政治に参画している実感を有権者が持てるよう努力することではないかと思えます。</p> <p>自治体では、期日前投票に力を入れております。本市でも同じであります。人出の多い商業施設内に投票所を開設したり、投票箱を積んだワゴン車が地域を巡回する「移動投票所」や、高齢者など移動が困難な人のための無料送迎サービスを実施するところが増えている。こうした工夫を自治体間で共有し、投票環境の向上に一層知恵を絞ってほしいと思います。</p> <p>投票の秘密の保持など課題は多いが、インターネットによる投票も検討すべきであります。実現の可能性を探っていただきたいと思います。</p> <p>以下、お伺いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 投票率向上のための具体的な施策、啓発について(2) 投票所従事者・立会人の選定について(3) 障がい者（視覚障害・聴覚障害・要介護者等）に対する支援、サービス、情報提供について(4) コロナ禍の郵便投票の啓発と実態について

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>4</u>	危険な道路の対応について
要 旨	<p>※多くの地域住民からの相談からの質問です。</p> <p>私事ではありますが、小中学生の子どもたちの登校の見守りボランティアを始めて15年目になりました。近所の押しボタン信号機の前で月曜日から金曜日の朝7:30~8:00までの間に立っています。市内にはこういうボランティアで行っていただいている方が多くいらっしゃいます。敬意を表するところでもあります。また他の議員もいらっしゃいます。議会でも危険な通学路についての安全の確保について、いくつかやり取りがありました。市の対応が必要な部分もたしかにあると思いますが、子どもたちの通学路が危険と分かったのであるなら、その地域の方や有志で子どもたちを「守るんだ!」との意気込みが大切だと感じております。以下、お伺いたします。</p> <p>(1) 歩行者に危険がある道路として認識している箇所について (2) 歩行者を守る横断歩道の安全対策について</p> <p>旭丘校区内では非常に問題になった道路として、多くの地域住民から相談が寄せられる殿様街道の危険性についてであります。道幅も狭く車同士のすれ違いにも気が抜けません。また、30km規制にも関わらず速度超過や押しボタン式信号機での信号無視が多発しております。</p> <p>歩行者を守る横断歩道の安全対策について伺います。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する